

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コラゾン千葉中央		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 16日	~	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 10月 16日	~	2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日	~	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様、保護者様の満足度	月ごとのテーマに沿って毎回違うメニューを取り入れ、様々な動作を習得できるように意識している。また、跳び箱、鉄棒、マット運動、縄跳び(大縄、短縄)の器械体操を月に2回取り入れてお子様が苦手としている分野の練習をしている。	引き続き、お子様にとって簡単すぎる、難しすぎる等と感じず楽しいと思ってもらえる、そして保護者様も見ていておもしろい、成長を感じられると思えるメニューの考案、開発を行っていく。
2	スマールグループのため、お子様一人ひとりと密にかかわる	関わりやすい少人数制のレッスンのため、お子様がマイナスな気持ちになってしまった際にはスタッフがついて話を聞く体制が取れています。お子様同士でのコミュニケーションをとるときもスタッフが積極的に仲介ができるている。	作戦会議では聞くだけではなく自分の意見を発言する積極性や、重たい道具を運ぶ時にどのように声を掛けたら他の者が助けてくれるか考えられる機会、勝敗のある運動でハイタッチをする事で達成感を味わえる等お友達との直接的コミュニケーション、SSTなどをいま以上に取り入れ、個別では行えない、お友達がいることでできる支援やサポートを増やしていく。
3	保護者が直接お子様の成長を見ることが出来るモニタリンググループ	お子様のできた！を近くで見ていただくことで一緒に喜びを分かち合う事ができ、フィードバック等で直接的に成長したことへの共有ができる。また、送迎に来てくださっている保護者様に向けて冷たいお飲み物や温かいお飲み物、雨の日には飲み物に合うお菓子の提供、ご兄弟と一緒に送迎してくださる方の為にぬりえやおもちゃの提供をしている。	お子様にとって課題としている点をお子様のベースで成長を更に感じることができるよう、メニュー提供を行っていく。できる限りで夏には凍らせたゼリーや扇風機の準備、冬にはブランケットや裏起毛付きのスリッパの準備、ヒーターの設備等を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの専門性の質	経験などや研修を踏まえて、専門性が一律ではないと感じることがある。	普段のミーティングやケース会議などを通して、どのような支援方法があるのか、何が適切なのかを常に話し合い、実行し、実行したあともどうだったかなどフィードバックを行い、常に模索を行っていく。
2	外部との連携	児童発達支援管理責任者の会議の参加や他事業所との連携が少ないため、複数事業所通われている方の情報に乏しいと感じることがある。	事業所間で連携が取れるよう、事業所間連携会議などで相談支援事業所との関係性を築いていき、相談させていただくとともに、地域の連絡会などにも参加し、他事業所の皆様と顔を合わせる機会を設けていく。
3			